

七塚小学校

コミスクだより No7



令和元年 12月 11日
かほく市立七塚小学校
校長 坂本 由紀子
SCN 澤野 真由美

げんきっず集会 12月2日(月)

げんきっず体操を通して体力づくりを推進している七塚小学校ですが、今回はプロの縄跳び伝導師田口さんに来ていただき、げんきっず体操をした後に縄跳びの実演をしていただきました。

音楽にあわせて素晴らしい技の数々を披露していただき、難しい技だけではなく失敗してもかっこよく見せる技や子ども達でもちょっと練習したらできそうな技など、楽しく教えていただきました。後半は、4～6年生が実際に田口さんの指導を受けて、前後二重跳びや交差跳びの練習をしました。最後に田口さんから「高校生まで器械体操をしていて、24歳で縄跳びに出会い、それから一生懸命練習しました。1年で世界の大会に出場できたのは、小さい頃から練習していた器械体操の基礎があったからです。皆さんも今している勉強やスポーツは、何も無駄にはなりません。やりたいことが見つかった時にチャレンジできるよう、今できる事を精一杯がんばってください。」と素敵な夢をかなえるためのメッセージをいただきました



田口師永 (たぐちのりひさ)

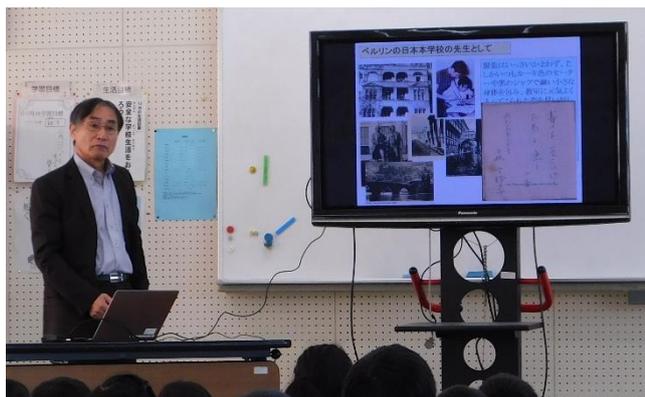
1976年生まれ。2000年からスキッピングロープ（縄跳び）をはじめると瞬く間に魅了され、翌年には世界チャンピオンシップに出場するレベルまで登り詰める。2002年「シルク・ドゥ・ソレイユ」との契約。「キダム」の日本公演でスキッピングロープのソリストとしてデビュー。



4年生 高橋ふみさんの学習 11月5日(火)

4年生は社会科の授業で、木津出身の日本初女性哲学者・高橋ふみさんについて西田幾多郎記念哲学館館長の浅見洋さんから学びました。

高橋ふみさんは、女性で石川県初の大学生になり、女性ではじめて哲学研究者になろうと努力した方です。浅見先生は、「皆さんの先輩であるふみさんは、新しい道を切り開いていった人で、夢を追い続けた人。開拓者です。皆さんも夢を持ってあきらめないで進んでください。」とお話してくれました。



5年生 家庭科 11月21日(木)、28日(木)

5年生は、家庭科の授業で、ミシンを使ってエプロンを製作しました。七塚生活学校8名の皆さんにサポートしていただきました。ミシンを使うのが初めての子もたくさんいましたが、優しいサポートのお陰さまで2時間で全員完成できました。

七塚生活学校の皆さん、ありがとうございました。

